



学ぶことそのものがおもしろい

学問の真髄に迫る授業

平成30年度卒業
東京大学理科II類

荒井 駿吾

好奇心解放宣言～「学び」の樂園へようこそ～

「学び」とはなんだろうか？学校で授業を受けたりテストのために問題を解いたりすることだろうか？もちろんこれらもその一部ということはあるだろう。しかしこれだけでは十分ではない。「学び」にはもう一段階上のステージがあると私は考えている。それは自分の好奇心に誠実であること、つまり自分の中に湧き上がる疑問に対してその場しのぎでごまかすことなく真摯に向き合い納得のいくまで考えることである。そしてこの「学び」を通じて我々は学力の向上はもちろんのこと、自らを取り囲む様々な問題を冷静に分析し、判断を下す力を養うことができる。

このような「学び」を実行するのは容易なことではないが、栃高という場所は最大限に我々をサポートしてくれる。なぜならば、栃高には志を同じくする学友や私たち生徒の思いに全力で応えてくださる先生方、高校の学習内容の枠を超えた新たな世界への興味のきっかけを与えてくれる研修などの様々なイベントが存在し、我々の好奇心を刺激し、活かすことのできる素晴らしい環境を提供してくれるからである。まさしくこの栃高高校は「学び」を求めるものにとって樂園のような場所なのである。

この文章を読んでいる君、遠慮はいらない。
この栃高で「学び」への扉を開き、自分の好奇心を解放しよう。

令和2年度卒業
群馬大学医学部

奥畑 普賢

『「学び」の場としての栃高』

みなさんはこれまでどのように勉強してきましたか。多くの人が問題集を暗記するまで繰り返し、試験で良い点をとることを重視したでしょう。しかし、そのような勉強法はすぐに行き詰まります。大学入試では単なるパターン暗記では対処できない、深い洞察力や思考力を要する試験問題が待ち構えます。さらに、近年の大学入試改革に伴い、更なる混迷を極めることは想像に難くありません。

そもそも、なぜ私たちは学ぶのでしょうか。試験で良い点を取るため？有名大学に進学するため？理想の職業に就くため？残念ながらこれらは単なる結果であり、学びの本質ではありません。ところで、みなさんの幼い頃はどうか。様々なものに好奇心を持ち、目を輝かせながら毎日を過ごしたことでしょう。その純真さこそ学びの原動力だと、私は信じてやみません。

栃高にはその純粋な知的好奇心に応える環境があることを約束します。単に良い授業や効率的なカリキュラムが準備されているのではありません。志を同じくする友人、そして心から尊敬できる先生や先輩方と共に、助け合いながら互いに研鑽を積んでいく、そのような環境です。みなさんはこの栃高という環境をどう活用しますか。

栃高での学びは決して効率性を求めません。栃高が目指すのは入試よりも先のこと、一生涯の学びにまでおよぶ知的な営みです。最後に、私が栃高で得た一生の師の言葉を借りて終わります。「広く、そして深く学び、高みを目指せ」

伸ばそう、君の能力を！

「おもしろい！」「知りたい！」を大切に、互いに高め合う
生徒参加型授業で、教師と生徒が協力して学習内容を深める



令和4年度入学生の教育課程

1年	国語 (5)	地歴 (2)	数学 (6)	理科 (4)	保・体 (4)	芸術 (2)	英語 (6)	家庭 (2)	課題研究 (2)	LHR (1)		
2年*	国語 (5)	地歴 (2)	公民 (2)	数学 (6)	理科 (2)	保・体 (3)	英語 (6)	選択科目 (5)	SS情報 (1)	LHR (1)		
3年	文	国語 (6)	体育 (2)	英語 (7)	選択科目 (17)						SS情報 (1)	LHR (1)
	理	国語 (4)	数学 (4)	体育 (2)	英語 (6)	選択科目 (16)					SS情報 (1)	LHR (1)

*2年次は文理混合クラスとなります。科目選択によって文・理を意識した個別最適な学びと、文・理の枠にとらわれない協力的な学びを推進します。

SSH(Super Science High School)事業

国内外でリーダーとして活躍できる科学者・技術者の育成を目指して

OS S H : [スーパーサイエンスハイスクール]

「将来の国際的な科学技術関係人材を育成するために、先進的な理数系教育を実施する学校」
(文部科学省指定)

○指定期間：平成29年度から2期目5年間

国内外でリーダーとして活躍できる人材の育成

発展し続ける伝統進学校

国内外で活躍できる科学者・技術者の育成

課題研究II・SS情報II (2年生で実施)

課題設定 → 探究活動 → 論文作成 → 発表

課題研究I・SS情報I (1年生で実施)

課題発見演習 → 調査探究演習 → 論文作成演習 → 発表演習

科学系課外活動の充実

カリキュラムの開発

○SSHクラブの活動

○より高度な探究

○主体的な学び

○科学的思考力の育成

○分野融合

○協力的な学び

○国際性育成

○教科横断型授業

(令和3年度の実施内容)